

資料に親しむ会 令和5年度第10回

「南蛮菓子のパン食文化」

京都府立京都学・歴彩館職員が「南蛮菓子のパン食文化」を、下記のとおり開催しました。

記

■ 日 時 令和6年2月13日（火）午後2時30分～3時30分

■ 場 所 京都府立京都学・歴彩館1階 小ホール

■ 参加者数 69名

■ 内 容 まず、江戸時代でのパンが日本人にどのように認識されたいか資料を使って紹介し、料理書に出てくるパンの作り方を紹介した。
次に、明治時代から大正時代のパン文化の歴史と京都での初期のパン屋の歴史を解説した。
最後に、戦後の京都市でのパン食文化の広まりについて家計調査の都市別の購入金額を使って紹介された。

■ 参加いただいた方々のご意見 （参加者アンケートより）

- ・パンに焦点をあてられたのが斬新。
- ・初めて日本及び京都でのパンの普及の歴史・経緯を知った。
- ・まだパンをよく認識されていない頃の資料が面白かった。京都のパンについてもっと知りたいと思った。
- ・現在営業して利用しているパン屋さんにすごい歴史があるのに驚いた。
- ・資料をどのようにさがし、使っていくのかという点が興味深かった。
- ・パン消費金額推移をグラフを使って説明してくれるのでわかりやすかった。

（講座の様子）

